

# あかるさかおるの スケッチブック No.14

バックナンバーは、町ホームページで  
まとめて読むことができます▶



## “心の親戚”

『子育てするなら三川町』のはずが、移住してきたパパ・ママからは「ここは都会より子育てしにくいかも…」という話も実は聞きます。自然もある、食べ物も美味しい、でも…。

その理由の一つは、田舎であればあるほど、従来の子育て、つまり地縁・血縁に頼る子育てが当たり前だからなのかもしれません。我が家も、おじいちゃんおばあちゃんに大いに助けられていますし、ご近所の皆さんにも温かく見守ってもらっています。それは本当にありがたく、素晴らしく、田舎の子育ての醍醐味だと思っています。でもそれはあくまでも、そこに地縁・血縁がある場合のこと。3世代同居率が日本一の山形県でも、そうではない家庭もたくさんあるんですよ。父母・ひとり親だけで子育てしている世帯は、祖父母パワーありきで語られている子育てと支援の現状に、合わせざるを得ません。

「今の若い人たちはしがらみに縛られたくないの  
でしょ？口も手も出さない方が賢明」という声もよく聞きますが、果たしてそうなのでしょう。子育てには手がかかります。いくら「個」の時代とは言え、父親・母親だけが全てを背負うのは大変です。それに、さまざまな人に愛された経験こそが、人をつくるのではないのでしょうか。

これからの田舎に必要なのは、地縁・血縁だけによらないコミュニティーづくりなのではないかな。そう、「心の親戚」というくらいの距離感で接することができる関係が心地よい気がします。おじさんおばさんになった気分で温かく、ちょっとおせっかいしてみませんか。



### 【このコラムを書いている人】

すがわら さやか  
菅原 明香（あかるさかおる）

アライアンス  
ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティーづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

